

銀漢亭日録



伊藤伊那男

7月31日(日)▼六時起き、今回は二日酔いなし！快晴。四回来て
いるのに初めてホテルの温泉に入る。快適。ゆつくり朝食。十時に
出て、隣の懷古園を丁寧に歩き、千曲川を眼下の四阿で一時間ほどう
とうと。これほど気持ちの良い川風は久々。蟬の声、虫の声。十二
時、銀漢の仲間と合流し、「草笛」で胡桃蕎麦。十三時、「ベルウイ
ンこもろ」にて句会。筑紫磐井、中西夕紀さんと。終って「銀漢北軽
井沢句会」の車二台の迎えをいただき、嬭恋村、柴山つぐ子さんの山
荘。武田編集長夫妻と合流。北軽句会の皆さんの大歓待を受け、山盛
りの御馳走でガーデンパーティー、あと慌ただしく五句出し句会。二
十四人。軽井沢駅へ送っていただき、帰京。北軽句会の皆さんの至れ
り尽せりの接待に感謝。皆さん、疲れが出ませんように。

8月1日(月)▼彗星集がまだ。選句済ませる。発行所「かさ、ぎ俳
句勉強会」、角川源義と。あと十三人。政三さんが気仙沼の魚加
工品と酒。

2日(火)▼九月号の原稿全部終る。店、開店以来初めての出来事！

二十時過ぎまで一人の客もなし。二十時半閉める。頭を冷やさないとい
けないので近隣の親しい店、A店、B店、C店を梯子する。それにし
ても一人の客も来なかったのは十四年の歴史で初めて。ああ……。

3日(水)▼「神田古本まつり俳句大会」の選句。四百句弱から十一句
選ぶ。選評八百字。店、「宙句会」あと十人。「きさらぎ句会」あ
と五人。二十二時半、閉めて帰宅すると、桃子夫婦が起きていて一
時間ほど一緒に飲む。

4日(木)▼午前中、整体。左肩はぐす。「草樹」元代表・小山徳夫
さん依頼の句集『春港』の鑑賞に取り掛かる。それにしてもこの暑
さ、ついつい昼寝など。

ジャカルタ スカルノ ハッタ国際空港でトランジット二時間。バリ着
正午前。クタの「ラマビーチリゾートアンドヴィラズ」に入る。

三室取り、桃子夫妻の部屋はプール付き。十八年振りのバリ島。

16日(火)▼時差一時間。皆寝ている筈にて八時、一人で朝食へ。レ
ストランにいただけで楽しい。バリのコーヒー佳し。プールサイド
でのんびり。案内人のカトゥー来て、今後の打合せ。海辺の散策。
家族は三つ編やネイル。昼食は町のレストランへ。サテ、カルボナ
ーラなどでビール、ワイン。戻って寝る。夜、中華海鮮レストラ
ン。鳥賊、海老の炒め物など。ナシゴレンうまい。

17日(水)▼インドネシアの独立記念日。カトゥーの子供の熱が下が
らないと、替わりに昨日一緒に夕食を食べたニョマンが運転、ウブ
ドへ。途中、パロندانズ劇場に寄る。安易に笑いを取ろうとして
駄目。ウブドのサレンアグン宮殿、市場など見て稲田の見えるレス
トランにて昼食。タマン・アユン寺院へ。夜、「魚SUSHI・
TEI」日本と変わらぬレベルの和食。

18日(木)▼NHKのテレビへようやくたどりつく。「と姉ちゃん」。
九時からゆつくり朝食。十一時、宮澤と二人、ニョマンの案内でタ
ナロット寺院へ。海の中の寺院にはだしで潮を渡り、聖水を受け
る。帰路、チャングーという稲作の田園の町を通る。欧州人のリゾ
ートになっている。戻ってプールサイドで十月号の選句。夜、成城
仲間の新聞さん一家四人合流。「フーラマ」にて食事。唐辛子の効
いた中華料理で私は駄目。

19日(金)▼二家族は象・イルカと遊びに。私はホテルに残る。寝た
り起きたり選句をしたり。十八時過ぎ、ホテルの裏のクタの海の入
りを見に。十九時、「ポピーズ バリ」。十八年前に来た有名店。ま
ずまず。

20日(土)▼「と姉ちゃん」見る。八時半、朝食。「カルフル」に
買物へ。戻ってプールサイド。十六時発、ウルワツの岬へ。断崖の

5日(金)▼小山さん句集評、字数間違って大幅書き直し。店、群馬
の鈴木踏青子先生訪ねて下さる。店、客少なかつたのでゆつくり
話。二十一時過、「大倉句会」あとの二十一人雪崩れ込む。

6日(土)▼十時、運営委員会。昼、久々、「いもや」の海老定食。
十三時、「麴町区民館」にて「銀漢本部句会」。夏休み突入でいつ
もより少なく四十五人。あと中華料理店十数名で暑氣払い。

8日(月)▼「信州伊那月俳句大会」で一時間半の講演予定あり。
さすがに準備が必要にて構想を考える。店は閑散。

9日(火)▼東京、今年最高気温と。「あ・ん・ど・うクリニック」。
三週間分の降圧剤もらう。店「火の会」七人。

12日(金)▼「俳壇」十月号へエッセイ。「俳句年鑑」へ五句。一応
店を開くがお盆休みで閑散。山形の菅原庄山子さんからだだ茶豆到
来。初物。

13日(土)▼十月号のエッセイを考えながらオリンピックのニュース
など見る。午後、久々、青山梅窓院の妻の墓参。蟬時雨。十四時、
新橋汐留口「十六夜句会」の吟行に招かれる。日本テレビを中心と
した伊達藩邸跡地を巡る。四十六階の展望台からの俯瞰もいい。新
橋ステーション跡。新橋の居酒屋にて句会と親睦会。大阪の辻本理
恵さんも参加して十二人の吟行。あと大野田さんと「信州伊那月
俳句大会」講演の画像について依頼。

14日(日)▼すっかり夏休みモード。中川さん来て、髪短めにカットし
てもらう。エッセイ一本。桃子は宮沢りえさんの舞台へ。莉子は
「Hevi Sevi Jump」のコンサートにて、男の子二人と留守番。十
七時から一人で宴会スタート。

15日(月)▼九時、羽田空港ターミナル。「つるとんたん」のうどん
の朝食。十一時四十五分のガルーダ・インドネシア航空搭乗。桃子
一家と七人で。雲の峰を眼下にシヤンパン。昼食はアスパラガスの
スープ、ステーキ、赤ワイン、チーズ。映画「ヒマラヤ」を見る。

パワースポット。夕暮のケチャダンスを見学。戻って数日前に行っ
た海鮮中華店。島の焼酎アラク。

21日(日)▼五時起き、選句、エッセイ。七時、朝食さつと食べて出発。
サヌールから船。小一時間のレンボガン島へ。シュノーケルを楽しん
でから上陸。前面にバリ本島を見てビール。数時間ほんやり、うとう
と。十六時、船でサヌールへ戻ると海岸は大風コンテスト真只中。夕
食は、「魚SUSHI・TEI」へ。二回目。設備のいい大レストラ
ンで味もいい。鰻重、カツ丼、海老天、うどん、寿司、その他。日本
酒は随分高いので注文せず。あとは日本の居酒屋並の価格。

22日(月)▼九時前、朝食に行くと、子供達はもうプールに入っている。
今日は選句選評などをやらねば……。夕方、ジンバランの海辺のバ
ーベキユーへ。海老、鳥賊、魚など。このあたりも十八年前の記憶
にあるが、様変りに展けている。今日で新聞一家四人帰国。我々は
あと一日。日本は台風直撃で大変と。

23日(火)、24日(水)▼十月号の原稿書き続ける。十六時、チェツ
クアウト。十八時、デンバサール国際空港発、ジャカルタ経由で羽
田へ向う。ジャカルタで二時間半待ちは辛いところ。夜食は天ぷら
うどん、朝は西京焼などの和食。九時半、羽田着(四十分遅れ)。
午後、店の点検。発行所へ選句稿届ける。

25日(木)▼今日から店。常連の方々、カウンターに。奥、「東大学生
俳句会」青木ともじ君他五人の句会。鈴木琢磨さん。菅原庄山子さ
んよりだだ茶豆沢山到来。

26日(金)▼発行所「門」同人会へ貸出し。店、稲垣さんの句会五人。
あと一金星句会」後の七人。水内慶太さんよりだだ茶豆沢山。

27日(土)▼十四時、日本橋「鮭の与志喜」にて「纏句会」。あと土
瓶蒸、煮鰯、秋刀魚の塩焼、握りずし。酒は「磯目慢」。あと、
「吉池」で干物仕入。店に納める。帰宅して桃子、孫と歓談、小
酌。宮澤は日帰りで春日大社のシンポジウムのパネラー。